



吹田市千里万博公園1番地

花よりソーラーパネル

中国自動車道の吹田インターを入ると直ぐ、万博記念公園寄りの土手に桜並木がある。その足元には黄色い連翹と白い雪柳が咲き競い、毎年春爛漫を楽しませてくれていた。ところがここ数年の間に連翹が黒っぽいソーラーパネルに変わってしまった。日本万国博覧会記念機構に聞くと、6年前に設置されたという。幅6m、長さ270mにわたり、パネルは計960枚。200KWの発電能力があり、公園全体の使用電力の2%を賄っている。クリーンエネルギー開発が進むこれからは、こんな風景があらこちらで増えてくるのだろう。気のせいか花で遊ぶ小鳥が少ないように思う。レイチェル・カーソンの「沈黙の春」の仮想シーン、春になっても鳥が飛来しない光景を思い出した。東日本の復興の遅々たるを思うと、春爛漫より未来を見詰め直す時かもしれない。

あつた ちかよし
熱田 親憲